

# 大書堂

『国芳画 誠忠義士伝』19世紀  
寺町で浮世絵の世界へ



大書堂は古書だけでなく、浮世絵をはじめとした版画も扱っている珍しい古書店だ。店内には江戸時代から明治・昭和期に至るものまでさまざまな木版画が並ぶ。写真の作品は、忠臣蔵の赤穂浪士47人全員を1人ずつ描いた木版画の1枚だ。まるで筆で描いたように見えるが、すべての線は木に彫られたもの。その技術力の高さに思い至ると一気に木版画を見る目が変わる。

木版画・浮世絵といえば歴史の教科書で見ただけ、という人も多いのではないだろうか。そんな人は木版画を実際に手に取ってじっくり鑑賞してみよう。

大書堂  
中京区寺町通錦上る円福寺前町  
075-221-0685

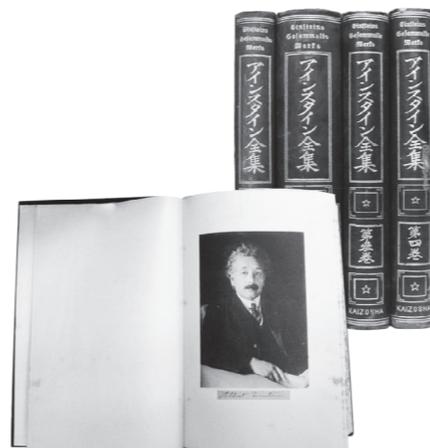
# 吉岡書店

『アインシュタイン全集』1922年  
日本初の相対性理論の和訳書がすぐそこに

理数系に強い吉岡書店では、初めて和訳されたアインシュタインの論文集を見せていただいた。現在では滅多にお目にかかれない品だという。「アインシュタイン」という表記に歴史を感じる。大論文らしくその装丁は豪華で荘厳だ。大正当時の学者達は物理学の根底をくつがえす論文にさぞ驚いたことだろう。

吉岡書店は4月号では教科書販売のお店として紹介したが、こうした貴重な本も多数扱っているとのこと。教科書を買って帰るだけでもったいない。ぜひ、店内に並ぶ「お宝」を探してみたい。

吉岡書店  
左京区田中門前町87  
075-781-4747



右の写真をよく見てほしい。どこかで見覚えはないだろうか。実はこれ、『解体新書』の実物である。まさか実物がこんなに身近に見られるとは、と編集部員もびっくり仰天。「外から見た日本」を探る対外外交史に力を入れているキクオ書店ならではの一品だ。

他にも平安時代の文書や、ひいてはパピルスに記された古代エジプト文書まで扱っている。「オリジナルのもつオーラを味わってほしい」と語るご主人。三条に行く時にはぜひとも立ち寄ってオリジナルを楽しみたい。

キクオ書店  
中京区河原町通三条上る恵比須町430  
075-231-7634

# キクオ書店

『解体新書』1775年  
歴史の教科書でおなじみの本が三条に



# 「ガラスのない博物館」の旅 京の古書探訪

編集部員がふらりと立ち寄った古書店で店主自慢の品を見せていただいた。本ならガラスケースに収められ、手袋をつけなければ触れられないような貴重な本を、実際に目で見て直接触ることができる。古書店はまさに、「ガラスのない博物館」だ。

# 藤井文政堂

『紀州徳川家奥女中の手紙』19世紀  
乙女の手紙は今も色あせず



藤井文政堂は仏教・易経関係の本を中心に扱っているが、ご主人の趣味でさまざまな歴史的な文書も集めている。今回は紀州徳川家の女中の書いた手紙を見せていただいた。この鮮やかな便箋の模様からは想像もできないが、200年も前のものだ。季節ごとに夏なら海、秋なら稲穂とさまざまな柄の便箋があったという。「季節に合ったものがないな」「他人とかぶらないようなものにしなきゃ」と心躍らせて便箋を選ぶ女性の姿が目につく。200年前の生活が1枚の手紙の端から垣間見えた気がした。

藤井文政堂  
下京区寺町通五条上る  
075-351-9363



# 中井書房

『カールスバーグ日記』1919年  
ゲーテの筆跡そのままに

この詩集は、ゲーテがカールスバーグという避暑地で過ごした日々を綴った日記の精密な模写であり、世界に1冊しかない貴重なものだ。丁寧な装丁と優美な筆跡は、約1世紀経ってもなお鮮やかで、さらに歴史を負った荘厳さが漂っている。また今回写真では紹介できなかったが、本の表紙が薄緑色のガラスでできている珍しい本も見せていただいた。その他にも面白いものがたくさんありそうだ。ご主人いわく「買わなくても、いろいろな本を見に来てほしい」とのこと。ぜひ足を運んでみよう。

中井書房  
左京区二条通川端東入新車町16  
075-751-5445

はみだし  
すてーじ

宇宙では、人も虫も同じ重さをもつ。  
⇒京大では、人も虫も同じ価値になる

(経・2 ぶんがく)  
(こともある……;編)

はみだし  
すてーじ

友人との会話：俺「これって遭難したときに有効なんかな」友「そうなんじゃね？」  
⇒編集長との会話：私「これって遭難したときに有効なんかな」長「はい？」

(理・1 kag)  
(この勝負、友人の勝ち!;編)